



定期総会・新年会 2014



新年会に集まった人々

1月19日(日)「第55回定期総会と新年会」が行われ、久しぶりに参加者が80名を超え、賑やかな催しとなった。

定期総会は先亡者へ黙祷を捧げ、千田会長から昨年8月の55周年式典開催における、皆さんの支援や協力に感謝を述べられた。事業報告があり、会計報告は収入R\$241,098.37、支出R\$207,235.31で、R\$33,863.06が次年度へ繰越された旨会計理事の報告。また、前理事会時から第二会計としてイタウ銀行信託にあった、R\$103,000.00を本会計に一本化したことを会長から説明があり、信託の合計がR\$220,498.85であることを報告。それぞれが承認された。

2014年度事業計画案では、会員のアイデアで県人会活性化を図りたいと述べ、予算案は昨年同様R\$115,000.00案を示し承認された。理事会提案は、会費を据置き年間R\$80.00、6月から開催される「ワールドカップ」で来伯する日本、岩手からの訪問者に出るだけの対応をしたいと提案した。



総会風景

ご婦人方が作った持寄りではなく、仕出し料理を提案。会員や特に支度などに忙しいご婦人や若い人は、

お客さん気分新年を祝いながら会員同士の親交を深めた。

たまには会費制(会と参加者折半)の、ご馳走も大変良かったとの声が多く聞かれ、会員へ「還元の意味」で、余裕があれば次の機会にもと注文があった。



この日、高橋佑幸さん(岩手町)から提供された、懐かしいビデオ「望郷の彼方からボンディア」(テレビ岩手製作)を観賞。

1990年2月に岩手県と県人会を結んだ衛星中継は、当時の中村直知事、鈴木直志アナ、家族会や留研生など、ブラジル側は、取材を兼ねた平井直子アナ、村松吉次郎5代目会長(矢巾町)に懐かしい顔が揃った役員、会員、留研生家族やOBなど。

当時の会員など思い出深い映像を懐かしみながら、故人となった人々に涙ぐむ姿も見られた。

なお、県人会35周年で衛星中継された「望郷の大地へのメッセージ」はテープに保存されていたのでDVDに変換しておいた。



新年のご挨拶

ブラジル岩手県人会
会長 千田 暁晴

新年明けましておめでとうございます。会

員は、母国の皆様方には健やかに、また希望に充ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もどうか指導ご鞭撻のほどをお願い致します。

昨年8月には、県人会「創立55周年記念式典」を、皆様方のご協力ご支援により、盛大に開催出来たことに心から感謝申し上げます。

新年を迎えるたびに、先輩移住者の高齢化で会員休止や、人生を全うれ天国に召され鬼籍に入られた方も多くなり、淋しい思いをするのは皆様方も同じ思いとお察いたします。

お元気で新年を迎えられた方々には、今後とも健康に留意され私共に勇気を与えて頂きたいと存じます。

今年の6月から「ワールドカップ」がブラジル各地で開催されます。日本からも大勢のサポーターが来伯されると報じられております。

若手からお出での節は、是非県人会を訪問して頂きたく存じます。出来るだけのお手伝いはさせて頂く所存です。

県人会は皆様方のご期待に答えるべく、今後も行事や新企画を計りたいと思っております。

また、会の運営や事業で利益があれば、会員への「還元」も視野に入れて取り組む考えです。それには皆様方から活性化へのご意見を賜りたく存じます。どうか宜しくお願いいたします。

さて、岩手県を含む沿岸地方を襲った「東日本大震災」から、まもなく3年目を迎えようとしております。

県や被災市町村では地域の復興を急いでおりますが、県では「復興加速年」として取り組んでいるようです。

昨年当会「55周年式典」で、達増県知事から「復興状況」の講演がりましたが、完全復興まで約8年かかると説明されておりました。県知事は年初被災地に宿泊し、被災者や被災地の状況を把握し、復興の陣頭指揮を執っているとの事。震災以来毎年仕事始めは3年続けては被災地に飛んでおります。

私共海外日系人も、故郷の復興と発展を願っていることは言

うまでもありません。最後に会員は、関係皆様には益々のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

忘年会と餅つき 2013

12月14日(土)「餅つき」を県人会で行った。今回は会員ということで、餅米60キロを搗いた。イグアツペの高橋義明さん(北上市)から30kg餅米の提供があった。30kg買いたし搗くことにした。



12月15日(日)正午から2013年度の「忘年会」が行われ、会員家族など約70名が参加した。

はじめに千田会長から、8月の創立式典は会員皆さんの協力で盛大に開催出来たことと、1年間の労に対し感謝を述べた。

また、郷土の歌手「福田こうへい」さんの紅白初出場の応援観賞会を31日に開催。来年の新年会は「仕出料理」で祝う案内があった。

乾杯はMogi das Cruzes 在の菊池達郎さん(東和町)の音頭で祝杯をあげた。食事は会員皆さんの持寄り料理が一杯で、「豪華賞品」を用意した「ビンゴ」や「カラオケ」も行われ、久々の親睦交流を計った。

この日飛び入りでRio Resenteにある「ニッサン自動車」への派遣技術者5名と案内人の参加もあった。



14日、早朝から米を蒸かし10時ころから餅搗き開始。年配者が若い人々に「餅づくり」を伝えながら、同じ大きさにと「餅切り機」を使い、丸めて並べるなど次々と餅が出来上がった。

餅は注文に応じ、一部は忘年会のお雑煮用に残した。



- 10月7日 朝倉大君 マリンガから帰省 8日帰国
- 20 鹿児島県人会創立 100 周年、県人移住100周年式典に千田 会長夫妻出席。州議会会場で行われた
- 21 平野マリアさん会計処理の手伝い
- 23 岩崎nyから知事一行の動静。☆ 金ヶ崎広報紙に 55 周年記事
- 24 県連代表者会に千田会長出席
- 27 第53回会員交流誕生会開催。山口セシリアさんが仕事の同僚 藤牧毅さんを紹介。藤牧さんの父は達増知事が議員時代の秘書 をしていたとのこと
- ★ 千田会長夫人が山形県人会創立 60 周年式典出席
- 28 菊地さんの同級生 3 名（木村力夫氏・小野寺国三郎氏・池田 鐵夫氏）に、木村氏の娘一渡辺晃子さんの歓迎会が宮城県人会 ホールであり。招待を受ける
- 11月2日 ブラジルのお盆
- 9 JA 岩手農協盛岡の婦人部長 村上祐子さん、群馬、三重から 3名の昼食会に会長夫妻出席
- ★ 役員会開催。夕刻より菊地さんの同級生 4 名、村上さんの歓送 会を有志にて県人会で行う。
- ★ 唄う水道屋さん秋本清・絢子夫妻の車イス寄贈は岩手県山田町 に5台贈られ 400 台達成のニュース。当会55周年式典で3台が 援護協会に贈られ395台目だった。
- 10 愛媛県人会 60 周年式典に千田夫妻出席
- ★ 巖岩愛子さんの母親急死で千田会長通夜に参加
- 12 一関出身者菅原啓し来館。日本共産党機関紙 しんぶん赤旗記 者。ブラジルで5カ月来各地でデモ活動を取材目的で来伯。
- 14 国際課山田さんより賀詩及び 100 寿対象者調査依頼あり
- 20 東京首都大学の江原由美子副学長、丹野清人教授の「日本の 女性とブラジル日系女性」比較調査の討論会が県人会ホールで

- 22 賀詞、百寿者対照調査、餅つきや忘年会、2014 年度定期総 会・新年会等のお知らせ発送
- 26 吉田恭子賛助会長より、一関の千田功平さん72歳急逝の知らせ。
- ★ IBC 岩手放送依頼の「いわて紅白」に応援メッセージを発信
- 27 一関の千田弁護士遺族、兄である金ヶ崎の茂氏へお悔やみの電 話を入れる。心臓動脈破裂とのこと
- 29 農村婦人部交流事業で視察を終えた岩手の村上祐子さん、群馬、 三重出身者のお別れ会が宮城県人会で開かれ会長出席
- 12月3日 国際課へ 55 周年収支決算書を発送
- 5 総領事公邸で開催された「天皇誕生祝賀会」に会長出席
- 8 児玉ミルトン、菊地透、野村なおみさんと会計監査を行う。
- 12 県連代表者会に会長。同忘年会に多田副会長、昆野会計出席
- ★ 12月3日付赤旗新聞に「ひと」欄に会長の記事
- 15 忘年会に約 70 名出席。ニッサン自動車出張社員飛入り参加
- ★ 母県、海外県人会、県人会関係者・会員へ賀状発送
- 27 金曜懇親会あり。カラオケ+会場は岩手県人会 30 数名で賑わう
- 31 福田こうへいさん紅白初出場応援観覧会を行う。
- 2014 年 1 月 6 日 ★ 岩手県知事はじめ県職員、賛助会員、海外 県人会、当地各県人会、団体から多くの年賀状を頂きました。あ りがとうございます。
- ★ 留学研修生 OB 会による、本年度留研生への講習会が当会サロ ンで31日までの日程で開会式が行われる。開校式に会長、多田 副会長出席
- 11 役員会開催
- 19 第 55 期定期総会、新年会開催。出席者 80 名を超える
- 31 留研生への講習会の、閉校式に会長、多田副会長出席



会費納入者名 2014 年 (Anuidade de 2014 R\$

80,00) 1月 山道慶大、千田曠曉、藤村光夫、及川秀義、手 島多田良子、手島修ジョージ、名原幸造、小畑ともこ、武田 春雄、野崎寿美子、高橋好子、亀ヶ沢梅吉、塚田よし、野村 なおみ、菊地透、菅原英一、菊池達郎、阿倍正司、阿倍貴司 アイレス、田鎖満、泉政英、飯塚範夫、唐沢みつ子イザウラ、

くになりせいいち かむらます お 国成精一ジュベルソン、川村益夫ネルソン、 やたべあきよ わたなべ ひがし 谷田部昭代、渡辺ミチ、東バナネッサ、 おももり なかむらおさ お いわかみ 大森みどり、中村修子、岩上ますみエリカ、 かじわら ひらのみのる まついさだのぶ 梶原まさこ、平野稔、松井定信、 ささきけんすけ ささきけんじ ちばなおよし 佐々木憲輔、佐々木憲次、千葉直義、



寄付 高橋 好子 R\$230.00, 松井 定信 R\$ 20.00

会員の千田さん急逝



ブラジル県人会賛助会員「千田功平」氏（72才、弁護士、一関市在）は、11月24日心臓動脈の急変で急逝されました。千田氏は、1993年リオで開催された「世界環境会議」に出席のため、ブラジルを初訪問された。最近、千田氏は政府の「秘密保護法案」に対し、「国民の知る権利」を主張。前日も講演会を行い、奥さんに疲れたと云っていたとのこと。翌朝心臓の急変で帰らぬ人となりました。合掌

千田氏には、金ヶ崎町に兄・茂さんがいる。千田県人会長とは親戚で訪岩のたび歓迎を頂いた。写真は2009年9月にも歓迎を受けた。両端が千田氏ご夫妻、中央が会長夫婦。ご夫婦には一人の息子さんがある。

ニューヨーク県人会から

ブラジル県人会 千田会長 様

新年明けましておめでとうございます。ご挨拶が遅くなり大変申し訳ありません。新年早々NYは大雪で、交通が麻痺し大変な状況でした。

今は寒さも和らぎ、だいぶ過ごしやすくなりました。2月初めに岩手県一関市の酒造「世嬉の一」が最近NYで日本酒、ビールの販売を開始したそうで、4代目の佐藤社長がプロモーションのために来NYし、岩手県人会の有志を中心に試飲会を開催する予定であります。 <http://www.sekinoichi.co.jp/>

3月初めには「Japan Week」として、日本への観光客誘致のためのイベントが開催されます・当会も岩手のパンフレット等を配布し、観光地紹介に参加するつもりです。

また、今年も東北6県+北海道連合（ほくほく会）主催で3・11の追悼式が開催されます。あれから早いもので3年になりますね。

先日、貴県人会の会報が郵送で届きました。ありがとうございました。職場の住所が変更になったもので、旧住所より転送されて時間が掛かったようです。恐れ入りますが、住所変更をよろしく願いたします。

新年が素晴らしい歳になりますように、祈念しております。

NY岩手県人会 幹事 佐々木まり子

千田会長様 盛大な式典大変おめでとう御座います。ご苦労様でした。当地で開催されました「**県知事ご一行様との懇親会**」とNY県人会、県知事主催の**「トモダチでありがとう感謝の集い」**、**「二戸市の物産展」**の写真を送付いたします。いずれも大盛況なイベントでした。岩崎雄亮 拝 NY岩手県人会名誉会長

達増岩手県知事一行と

NY岩手県人会懇親会



郷土芸能使節団一行の民謡民舞披露



二戸市物産展

8月27日NY総領事公邸で、二戸市の物産展を開催。南部美人、浄法寺漆器、南部せんべいなどが紹介された。また、短角牛肉、二戸産米で作った「おにぎり」などもサーブされ、200名を超える参加者で大盛況だった。



「南部美人酒で鏡開き」
右より、久慈浩南部美人社長、小保内敏幸市長、草賀純男日本国NY総領事、岩崎雄亮NY岩手県人会名誉会長

左より吉田けい子岩手県議員、久慈浩介南部美人専務



とうほくけん 東北6県+ 北海道連合 (ほくほく会) 代表と 達増県知事



“トモダチでありがとう

感謝の集い”

2013年8月26日、New YorkのJapan Societyで、岩手県知事主催の“トモダチでありがとう感謝の集い”が開催された、200名を超える参加者で、会場は超満員、大盛況であった。

ブラジル県人会55周年式典

パラグアイ訪問で感じたこと

「海外県人会との交流」 昨年8月、パラグアイ国イグアス岩手県人会創立50周年式典へ、招待を受けて祝典を共に祝った。

この会場でアルゼンチン県人会、パ国アスンシオン県人会、ピラポ県人会、イグアス県人会の会長、地域県人など多くの方々、また県人会同士の交流が計られた事は有意義であった。



(イグアス岩手県人会50周年式典風景)

「海外岩手県人会」×「母県との絆」 今回 両国の式典を顧みると、共に連携しながら県人会同士の「絆」を大切にしたいと感じた。

県知事一行がサンパウロ滞在中、同道する機会があり、いろいろなお話の中で、知事は「海外県人会の連携強化」、また県に「南米訪問OB会」設立を提案されていた。私は大変良いことだと同調した。県と海外県人会の連携強化は大事な事だと思う。

「OB会」で、県人移住者が受入れ国で活躍し、地域住民との交流・発展へ貢献しながら、郷土愛を忘れない気持ちを、広く県民に知らせて欲しいと思います。この機会に是非県に「南米訪問者OB会」の設立を願ってやみません。



小原和子イグアス県人会長

2011年3月11日の「東日本大震災」に対し、各県人会は大変心配し義援金や物資など、惜しめない応援に対し、母県の皆さんは大きな感動を受けたことと思う。額や物量は少ないが海外県人の「郷土を思う心」を感じて頂いたことと推察。県は、震災見舞に対する報告を兼ね、

今回のアルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ニューヨークなど各県人会での「復興状況報告」となったのでは。

今後も各県人会同士や母県と連携しながら、情報交換や交流の「絆」を深めながら、「人的交流」が必要だとおもいます。

また、小さな力ですが各県人会では県産物等や、郷土の「観光」「食」「文化」「風土や歴史」を、地域住民や国民に自発的に伝える活動を行っています。これ、まさしく「郷土愛」ではないでしょうか。

「県人会サミット」の提案 当会の45周年、50周年と「海外県人会サミット」を行いました。参加出来ない会の事情もあり、全県人会が参加する事を難しく感じます。そこで、母県の音頭で2年か3年置きに「サミット」開催を呼びかけ、各県人会活動や留学生受入の増員要請など行ってはと思います。県や各県人会のご意見を賜りたいと存じます。

「お城・夢」パラグアイ訪問の度に、お世話になっている伊藤鷹雄前イグアス県人会長一家、今回も式典後の23日、伊藤農場

への案内を頂いた。伊藤さんは、牧畜を中心に大豆、小麦、裏作物など多角営農の傍ら、鯉の養殖も趣味で営んでいる。伊藤さんは父・勇雄さんの先発として新婚の奥さんと1967年に移住。

勇雄さん及び家族は、翌年の1968年に移住し、一族4家族となった。勇雄さん(1975年没)は「人類文化学園」構想のもとに「大自然の中、国境、人種、文化を学び理想社会」を造る理想



があった。農場には「人類文化学園 共働農場」の門柱や、地域の学童が学ぶ学園が現在でもあ



さて、農場に着き目に映ったのは、新築中の「お城?」を思わせる、立派で広い3階建の住宅であった。伊藤さんの「夢?実現」のようで、屋根の軒先に向けカーブがあり、お城のように各軒先に鬼瓦(ライオンやシカ、その他の動物が、来訪者を迎えるように居座っている)、また地元の細工師が掘った「欄間」も用意され、2階から天守閣?へは直径3mほどある大木を伐り抜き、そこへ階段をつけ遊び心の強い孫たちへの思いやり...

夕刻には、町の広場で開催されている「入植祭EXPO」会場の岩手ブース着。国境の町で買物を済ませた多田副会長が来場し、地域皆さんと親交を新にした。

24日朝、帰国をまえに、伊藤さんは多田副会長をも誘い再び農場へ。道すがら甥の福井一朗(日本人会会長)さん宅を訪問。



ここでも新しい住居が新築されていた。地域皆さんのご苦労が実りつつあることを感じた。

伊藤さんの新鮮な牛肉が卸されているスーパーに立寄った。娘さんが計量をチェックしていた。農場は初めての多田副会長に新築中の住居や農場内を説明しながら案内。この日は長男の勉さん家族や娘さんをお迎えしながら懇談し、空港へ。多くの地域皆さんの歓迎に感謝しつつ。

県人会事務所来館者数 (Visitante de Escritorio)

年間総計 (annual) 5,024名、Jan 385, Feb 415, Mar 402, Abr 468, Mai 446, Jun 388, Jul 457, Ago 462, Set 396, Out 392,

Nov 385, Dez 397, (1階サロン利用者は含まれません)

図書貸出数 年間 7,961冊、図書利用者数 年間 1,695名、

1月-738冊,149名、(以下、月、冊数、利用者数)

2-688-152, 3-402-645-153, 4-767-166, 5-749-156,

6-672-142, 7-611-145, 8-556-130, 9-652-144,

10-710-143, 11-617-113, 12-556-102,

いちのせき きくち どうきゆうせい
一関から菊地さんの同級生



写真 左から菊地夫妻、同級生、高橋夫妻（奥さんが一関）、木村さん（同級生）、同級生、木村さんの娘さん

10月28日（月）一関出身の菊地義治前会長の同級生3名（木村力夫氏・小野寺国三郎氏・池田鐵夫氏）に、木村氏の娘・渡辺晃子さんの歓迎会が宮城県人会で行われ、菊地さん家族、在伯一関出身者、岩手県人会、友人など約80名が歓迎した。

菊地さんは、ふるさとを訪問のつど同級生会の歓迎を受けているが、同級生は初めてのブラジル訪問。一行はサンパウロ近郊ヤイグアスの滝、リオなどを訪れた。11月9日、帰国を前に県人会で有志で歓送会を行った。また当日着伯した岩手JA婦人部長村上祐子さん（実家が一関で盛岡在）も加わり、郷土の話で盛りあがった。



村上さんは群馬、三重からの代表等とブラジル農協婦人部(ADESC)の案内で、各地の婦人部と交流や講習などで親睦を深める。



につばくじよせい もんだい いけんこうかん
日伯女性の問題・意見交換に
 しゅとだいがく ふたりらいはく
首都大学から二人来伯

の説明があった。それに対し参加者から「家族のために全てを捧げるのは可哀そう」「ブラジルでは女中制度（勿論余裕が必要）があり嫁はある程度自由があると発言。昔は親から裁縫や台所を仕込まれた談話もあった。また、ブラジルでは法律で女性や子供の立場も、ある程度守られていると発言。

丹野教授が継続調査を行っている「出稼ぎ労働者」について、2008年のリーマンショック後、約1/3が帰国しているが、その経験豊富な出稼ぎ帰人材に対し、日本進出企業は他外国籍企業と比べて、賃金が低いと云う。

このような人材に対して、最低賃金の5倍位の給与を提唱して、帰国者に働く意欲を持たせればと語っていた。



11月20日、東京首都大学の江原由美子副学長（初来伯）と丹野清人教授（県人会賛助会員・来伯30回）が、日本の女性とブラジル日系女性問題の点の違いなど、比較調査の懇談会が県人会サロンで行われ20名やアドバイザーなどが語りあった。

懇談希望者の依頼が当会にあり2/3は県人会員であった。丹野さんは主に、ブラジルからの「出稼ぎ引揚げ者の実態調査」で度々来伯。昨年は3回きたと覚えている。その調査の関係で、当会の藤村光夫副会長と懇意にしている。丹野さんは毎回訪伯のたびごとに県人会を訪問し賛助会員にも入会している。

江原副学長から、日本は男女平等の権利が与えられているが、特に主婦は古くから夫や家族に養われるケースが多く、女性は賃金、雇用（アルバイト）が安定していない（正規雇用は別）など

けんじんかいこんご よてい
県人会今後の予定 (Atividade de kenjinkai)

- 4月27日（日）12時より第53回会員交流誕生会
- 27/04/2014 das 12h domingo Confraternização e aniversario
- 5月25日（日）第8回わんこそば大会
- 25/Maio/2014 domingo 8º Famoso Wanko - soba Taikai

けんじんかいかつせい か
県人会活性化 Ativação Kenjinkai

会員皆様から県人会活性化に対する、アイデアや新しいご意見を
 どしどしお寄せ下さい。

Membro de todos, para a ativação Kenjinkai, por favor envie-nos sem
 hesitação as novas idéias e opiniões.

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil
Rua Thomas Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020
TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br
フウシル岩手県人会ニュース 184号 2014年2月発行



しんねんかい ふうけい
新年会 2014 風景

